



事故減少！ 「安全になった」と地域の声

～ 桑名市精義地区で進める交通事故対策の経過報告 ～

1. 概要

国土交通省三重河川国道事務所では、桑名駅前の交通事故が多発する精義地区（国道1号沿い）で、地元連合自治会、自治体（三重県、桑名市）、警察、視覚障害者協会や沿線の小・中学校、大型店舗、医療センター、病院をメンバーとする「桑名市精義地区交通安全検討会」を立ち上げ、協働で交通事故対策を進めています。

今回、当面実施する対策工事が完成し、整備効果がまとまりましたので、報告させていただきます。

【事故対策の実施内容（添付資料参照）】

◆歩道部（街路との小規模交差点）

自転車歩道を歩道の車道側走行	<自転車の出会い頭事故防止	>
イメージランプと交差点カラー化	<自動車への注意喚起（一時停止）	>
街路樹の剪定、カーブミラー	<視認性の確保	>

◆その他歩道部対策

中央分離帯の横断防止柵	<4車線道路の乱横断防止	>
自転車通行位置の明示	<歩行者と自転車の接触事故防止	>
注意喚起看板・マーキング	<左折箇所、バス停部の注意喚起	>

※本地区の事故特徴：事故全体の約40%が歩行者、自転車が関連した事故

2. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

3. 問合せ 国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

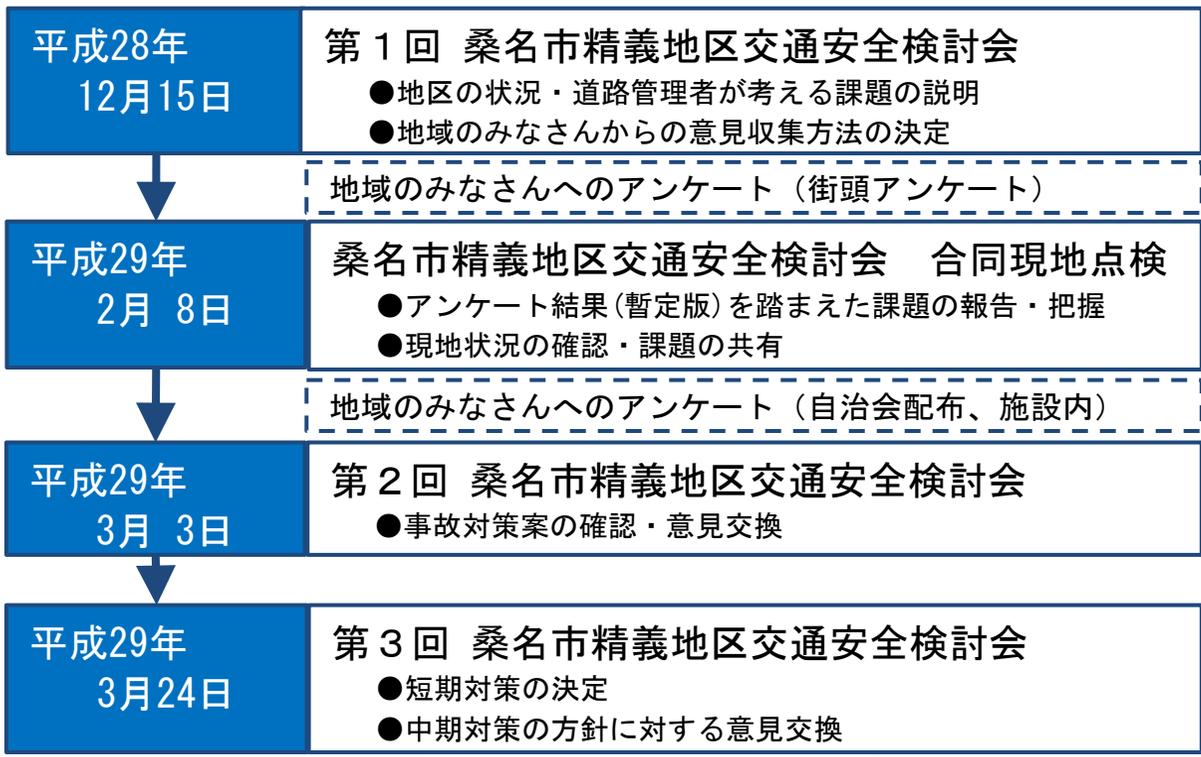
副所長 宮本 久仁彦（みやもと くにひこ）

総活保全対策官 大崎 真佐宏（おおさき まさひろ）

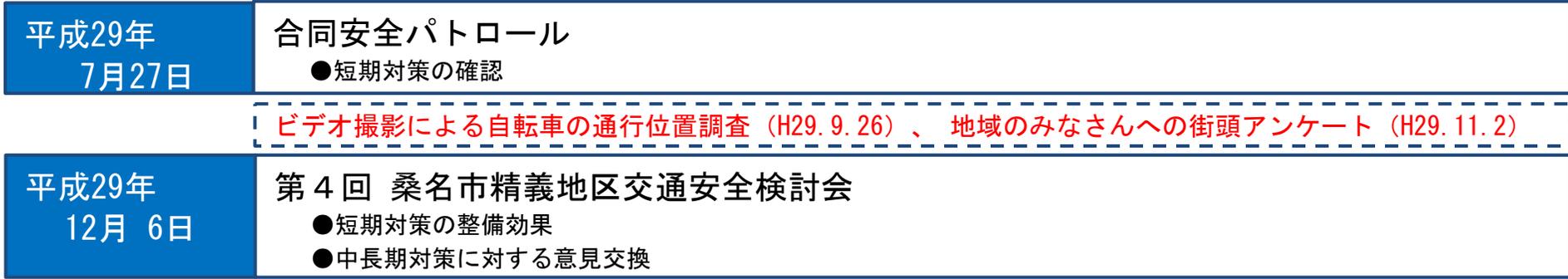
TEL (059) 229-2222 FAX (059) 229-2380

1. 桑名市精義地区交通安全検討会

< これまでの経緯 >



対策工事の実施（平成29年5～7月）



< メンバー >

- 精義地区連合自治会
- 桑名市視覚障害者協会
- 桑名市立光風中学校
- 桑名市立精義小学校
- アピタ桑名店
- 青木記念病院
- 桑名市総合医療センター
- 桑名警察署
- 三重県桑名建設事務所
- 桑名市
- 国土交通省三重河川国道事務所

3. 今回の事故対策工事内容

小規模交差点の対策



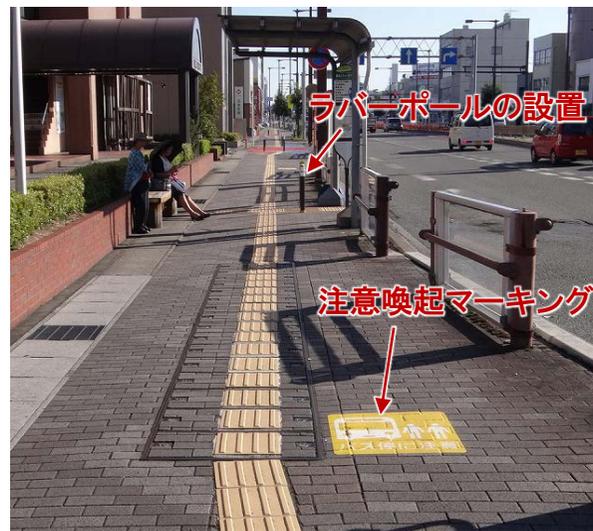
中央分離帯への対策 / 左折車への注意喚起



横断歩道のカラー化(強調)



バス停部の対策



カーブミラーの調整(縦配置)



4. 整備効果検証 《自転車の通行位置》

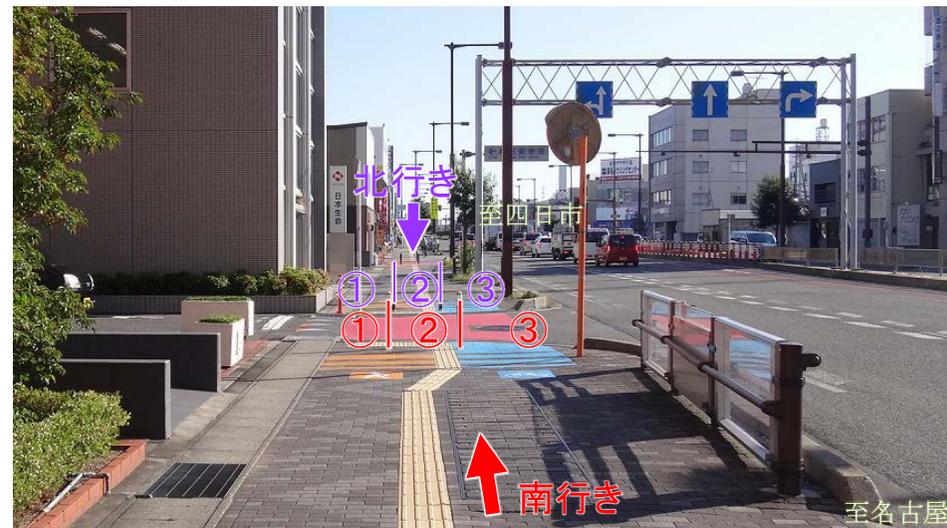
■調査結果 〈自転車通行位置〉

○歩行者・自転車マーキングにより、多くの自転車が歩道の車道側を通行するようになっている

地点A：ドコモショップ北側の小規模交差点

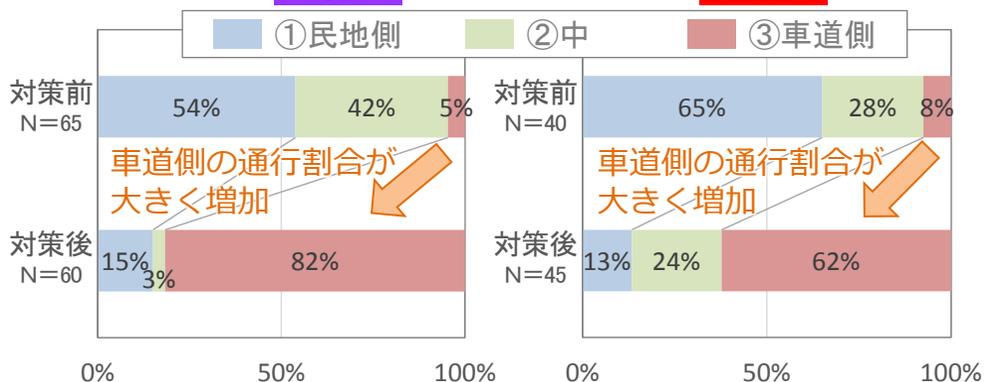


地点B：桑名シティホテル南側の小規模交差点



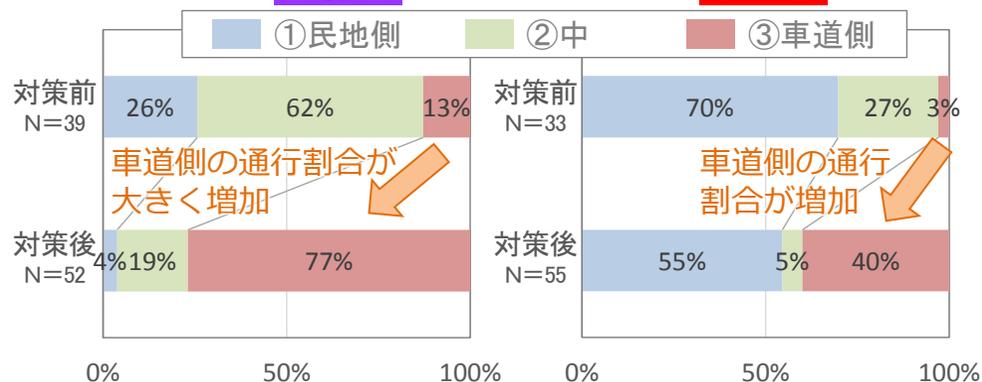
北行き

南行き



北行き

南行き



ビデオ撮影による「自転車の通行位置」の変化調査
 【対策前】平成26年9月16日（火）10時00分～12時00分
 【対策後】平成29年9月26日（火）10時00分～12時00分

※地点Bの南行きは民地側へのポールがないため他の方向と比較して車道側の通行割合が低い
 ただし街路方向の見通しが取れているため事故危険性は低い

5. 整備効果検証 《交差点進入速度》

■ 自動車の速度データの分析

交差点のカラー化(強調)による「自動車の交差点進入速度」の変化を分析

対策前：平成28年8～9月データ

対策後：平成29年8～9月データ

■ 調査結果 ※無信号交差点（枝道の交差点）を対象に検証

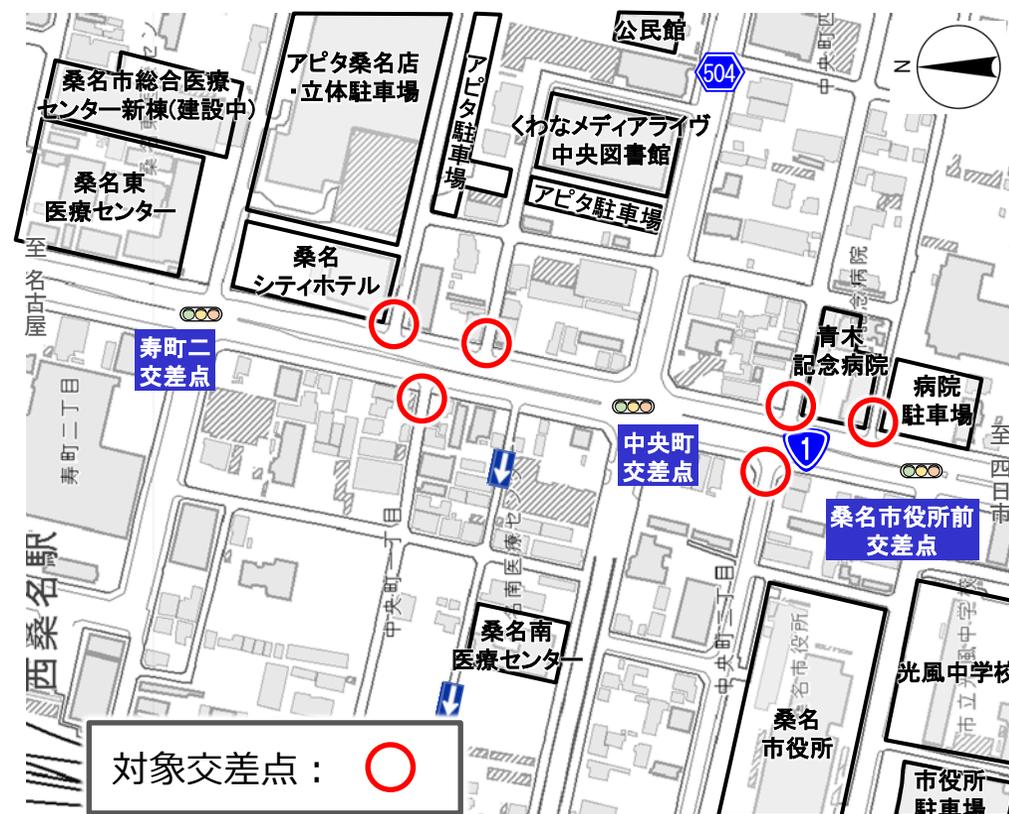
○交差点カラー化により、自動車の交差点進入速度が**24%低下**

対策前：9.2km/h



対策後：7.0km/h
[24%速度低下]

出典：ETC2.0走行履歴データ（対策前：H28.8-9、対策後：H29.8-9）
※対象交差点手前30m区間を走行する自動車の平均速度を算出



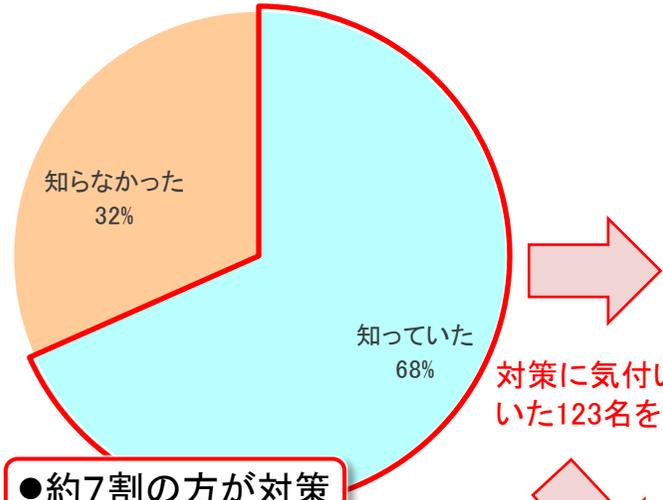
6. 整備効果検証 《街頭アンケート(180名から回答)》

■調査結果 (対策の認知・行動変化・安全性実感)

調査日時：平成29年11月2日 (木) 9時00分～17時00分

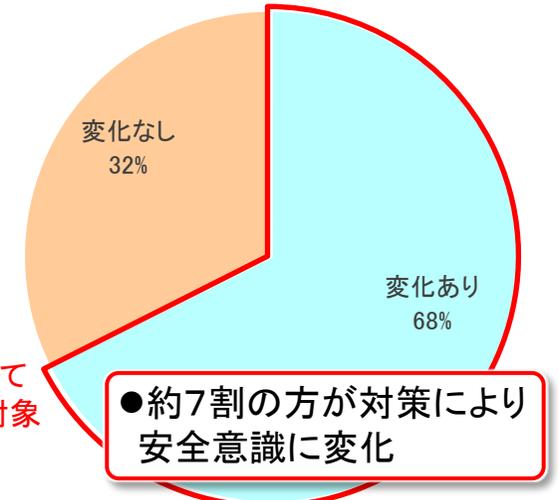
○約7割の方は、短期対策後に自身の行動を変化させ、また安全性向上を実感している

【対策の認知】



●約7割の方が対策に気づき

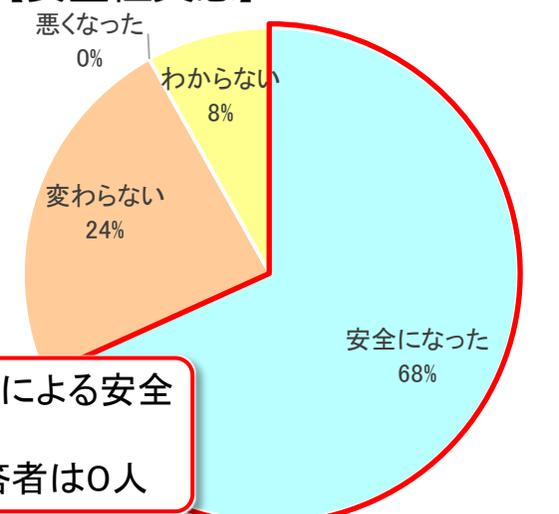
【対策による安全意識の変化】



●約7割の方が対策により安全意識に変化

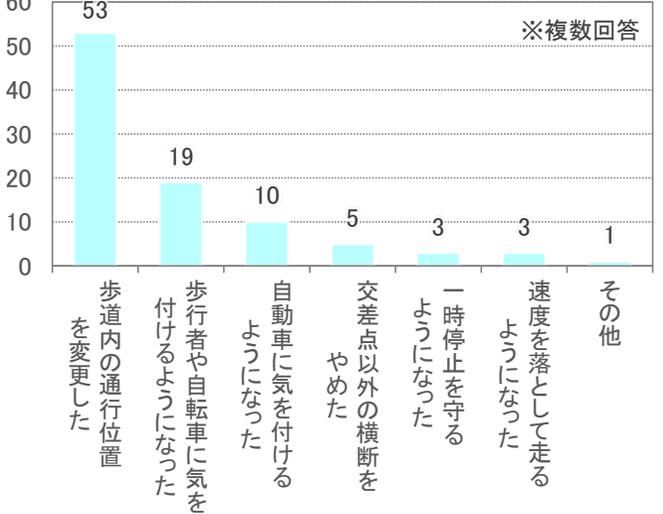
対策に気付いていた123名を対象

【安全性実感】



●約7割の方が対策による安全性の向上を実感
●悪くなったとの回答者は0人

《具体的な意識変化》



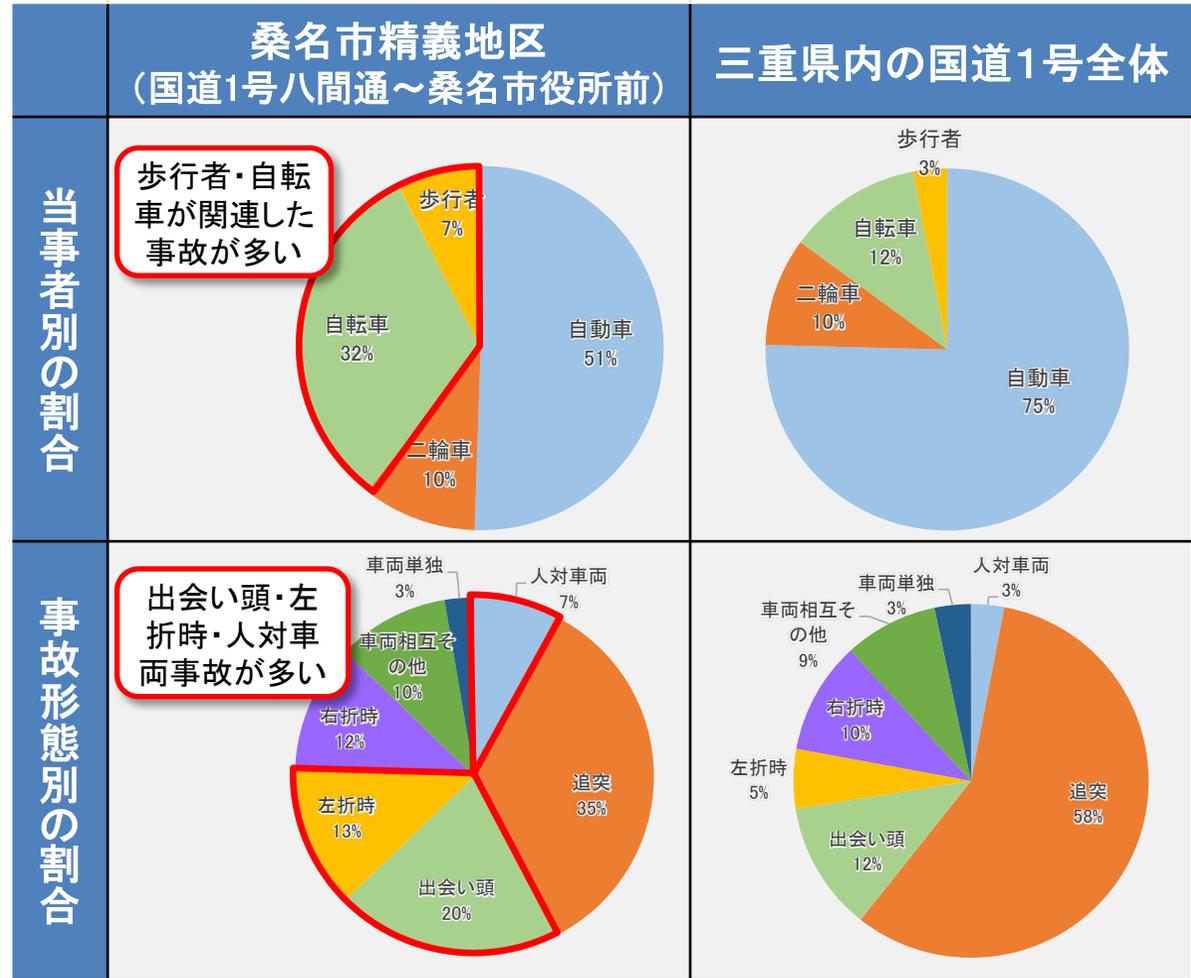
●安全対策に関する個別意見

- [対策効果について]
 - ・段差がなくなって車道側を自転車で通行しやすくなった
 - ・とてもよい対策だと思う
- [対策の改善について]
 - ・まだ歩道内の区分を守らない人がいるため歩道内のマーキングを強化してほしい
- [残存する危険性について]
 - ・路上駐車がため危険
 - ・シティホテルの横から出てくる車が一時停止をしないため危険

7. 整備効果検証 《交通事故の特徴と事故件数の変化》

■交通事故の特徴 [平成17年～26年の10年間]

○当事者は自転車や歩行者が巻込まれる事故が多い。

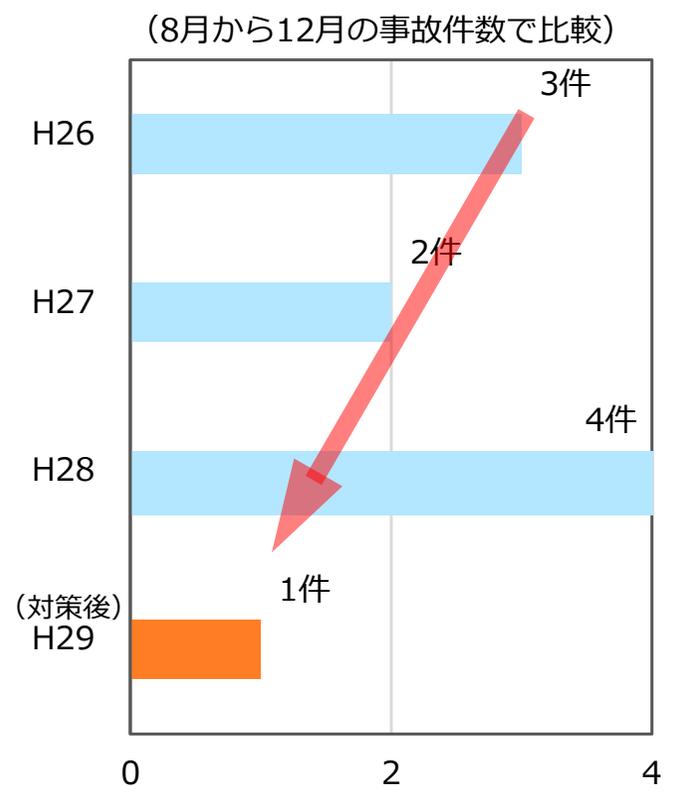


○事故形態は出会い頭事故や左折時事故、人対車両事故が多い。

■対策後の事故件数 (速報)

【事故件数の推移 (歩道部)】

(自動車と自転車の出会い頭事故(物損含む))



○対策により**出会い頭事故**が例年の**1/3**に**減少**